

環境に関する事業所アンケート 調査結果報告書

目 次

1. 調査概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査方法	1
(5) 回収結果	1
(6) その他	1

2. 調査結果

回答者の属性

① 主要業種	2
② 従業員数（事業所）	2
③ 従業員数（会社全体）	3
④ 所在地区	3
⑤ 事業所の所有形態	4
＜問 1＞ 地球温暖化対策の施策の重要性について	5
＜問 2＞ ゼロカーボンシティ表明の認知について	6
＜問 3＞ 地球温暖化対策の取組について	7
＜問 3－2＞ 地球温暖化対策に取り組む理由について	8
＜問 4＞ 再生可能エネルギー電力の導入について	9
＜問 4－2＞ 再生可能エネルギー電力を導入しない理由について	10
＜問 5＞ 「新宿再エネオークション」の認知について	11
＜問 5－2＞ 「新宿再エネオークション」を知った理由について	12
＜問 6＞ 事業者省エネルギー行動等への支援事業の利用について	13
＜問 7＞ 省エネルギー機器等補助事業の利用について（扱っていない機器）	14
＜問 8＞ プラスチックの使用抑制、プラスチックごみの削減のための取組について	15
＜問 8－2＞ プラスチックの使用抑制、プラスチックごみの削減のために今後実施できることについて	16
＜問 9＞ 興味のある環境に関するワードについて	17
＜問 10＞ 環境施策に対するご意見・ご要望について（自由記述）	18

1. 調査概要

(1) 調査目的

本アンケートは、環境保全への取組状況や新宿区の環境に関する意見などを基に、新宿区第三次環境基本計画の改定の参考とすることを目的に実施した。

(2) 調査対象

区内に所在する 300 事業所（区内事業所を対象に無作為に抽出）

(3) 調査期間

令和 4（2022）年 6 月 14 日（火）～7 月 15 日（金）まで

(4) 調査方法

郵送及び WEB による配付、回収

(5) 回収結果

配付数	有効回収数（※）	有効回収率
300	115	38.3%

※有効回収数とは、回収数から無効回答票を除いた数

(6) その他

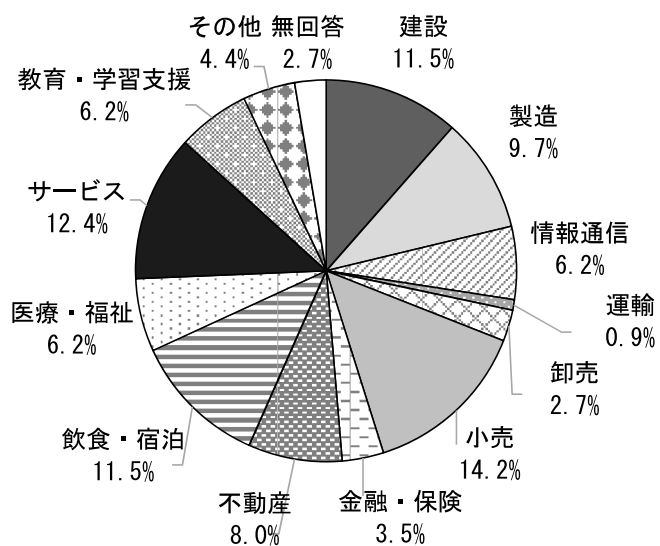
- ・結果の数値は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、単一回答であっても 100%にならない場合がある。
- ・図中の「n」は各設問における有効回答数を示す。
- ・自由記述は、原文をそのまま記載した。

2. 調査結果

回答者の属性

① 主要業種

- ・「小売」と回答した事業所が 14.2%で最も高く、次いで「サービス」が 12.4%、「建設」、「飲食・宿泊」が 11.5%であった。



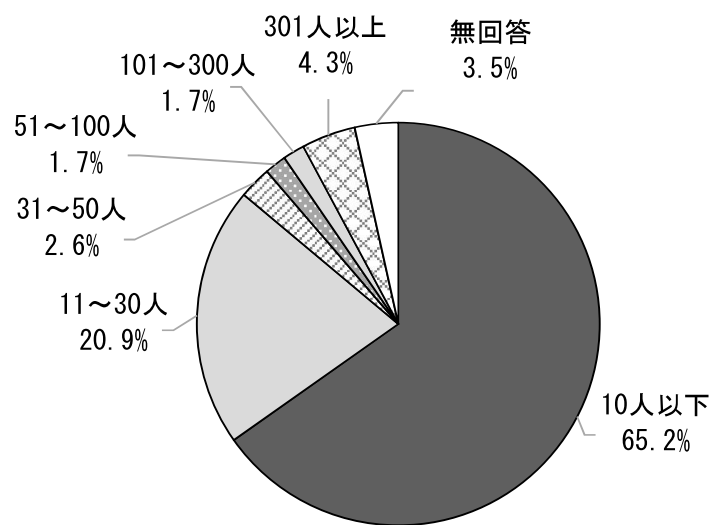
<その他>

- ・建築設計
- ・キリスト教会
- ・法律
- ・デザイン・機構設計
- ・税理士事務所

n = 113

② 従業員数（事業所）

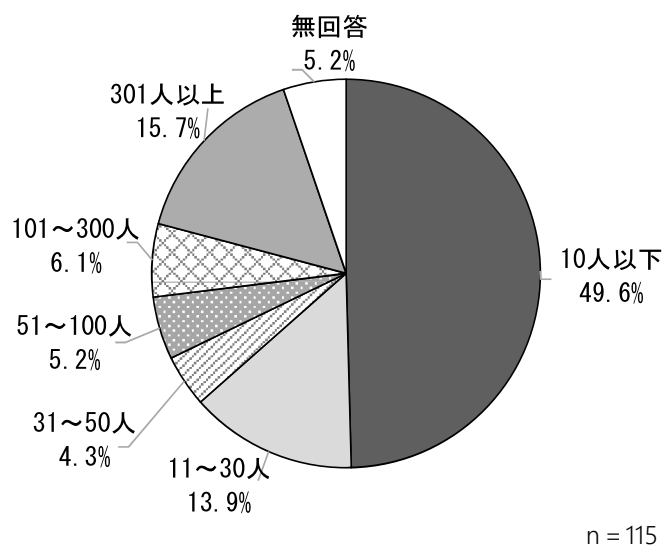
- ・「10人以下」と回答した事業所が 65.2%で最も高く、次いで「11～30人」が 20.9%、「301人以上」が 4.3%であった。



n = 115

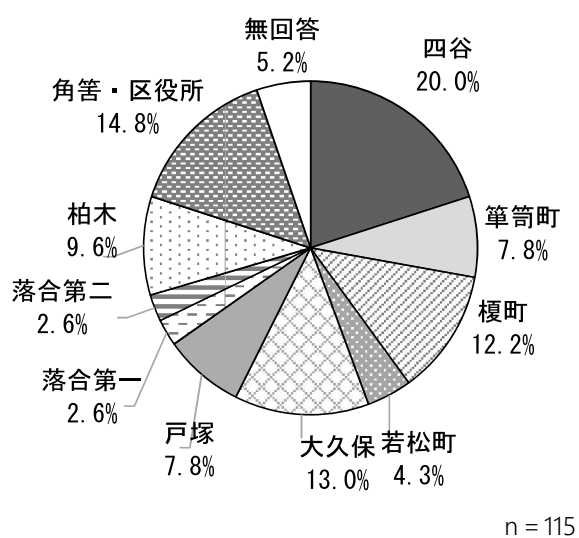
③ 従業員数（会社全体）

- ・「10 人以下」と回答した事業所が 49.6%で最も高く、次いで、「301 人以上」が 15.7%、「11～30 人」が 13.9%であった。



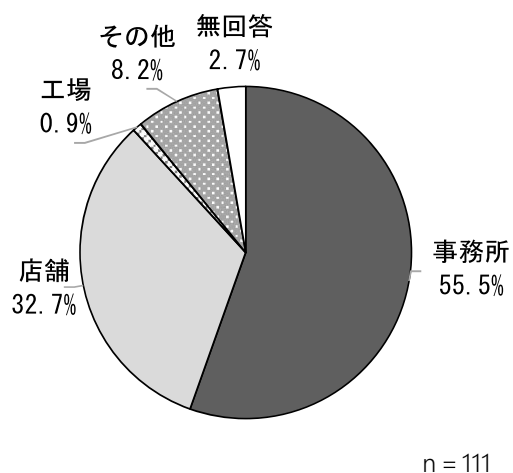
④ 所在地区

- ・「四谷」と回答した事業所が 20.0%で最も高く、次いで「角筈・区役所」が 14.8%、「大久保」が 13.0%であった。



⑤ 事業所の所有形態

- ・「事務所」と回答した事業所が 55.5% で最も高く、次いで「店舗」が 32.7%、「工場」が 0.9% であった。

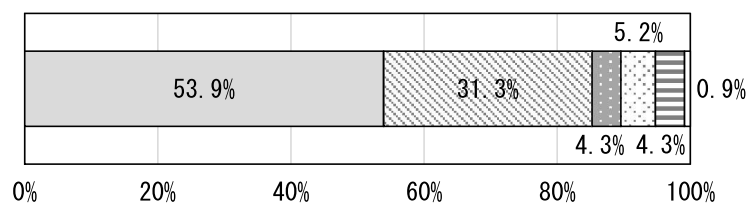


<その他>

- ・学校
- ・教会
- ・倉庫併設
- ・東京本社
- ・治療院
- ・学校
- ・店舗及び事務所
- ・診療所
- ・不動産賃業、舞踊指導

＜問 1＞近年、温室効果ガスの削減に向けて、世界的に様々な地球温暖化対策が進められています。こうした中、再生可能エネルギー電力の導入推進や省エネルギーの徹底等の地球温暖化への対応は、区の施策の中で重要な課題であると思いますか。
(あてはある番号 1 つに○)

- ・「そう思う」と回答した事業所が 53.9%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.3%、「そうは思わない」が 5.2%、「どちらかといえばそう思わない」及び「わからない」が 4.3%であった。



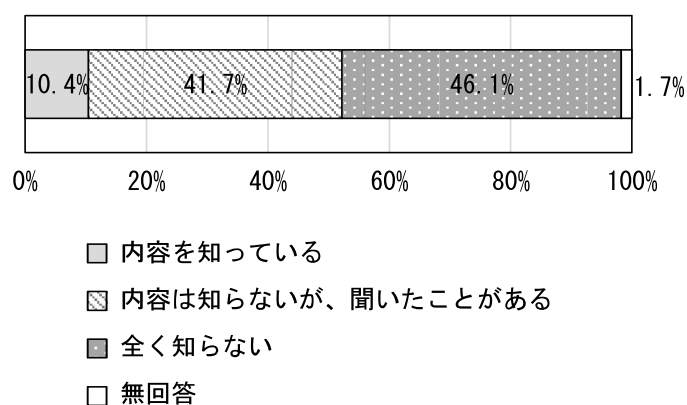
- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- ▤ どちらかといえばそう思わない
- ▧ そうは思わない
- ▩ わからない
- 無回答

n = 115

- ・多くの事業所が、地球温暖化への対応は区の施策の中で重要な課題であると思っており、区として対応すべき課題を整理して取組を強化するとともに、区取組を事業所へ周知し、事業所の行動変容を促すことで区全体として地球温暖化対策に取り組んでいく必要があると考えられる。

＜問２＞区は、令和３年６月に「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けて取り組むことを表明しました。貴事業所は、区の「ゼロカーボンシティ表明」について知っていますか。（あてはまる番号１つに○）

- ・「全く知らない」と回答した事業所が 46.1%で最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことがある」が 41.7%、「内容を知っている」が 10.4%であった。



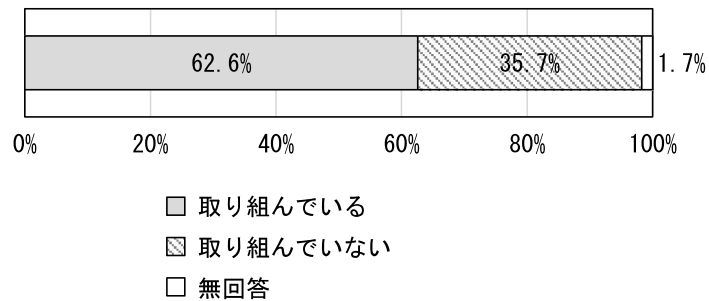
n = 115

- ・「ゼロカーボンシティ新宿」表明の認知度は低く、区が目指す目標を事業所に周知し、一つひとつの事業所がゼロカーボンシティの実現を意識して日々の事業活動において取組を推進するよう啓発する必要があると考えられる。

＜問３＞貴事業所は地球温暖化対策に取り組んでいますか。

（あてはまる番号１つに○）

- ・「取り組んでいる」と回答した事業所は 62.6%と高かった。一方で、「取り組んでいない」と回答した事業所は 35.7%であった。



n = 115

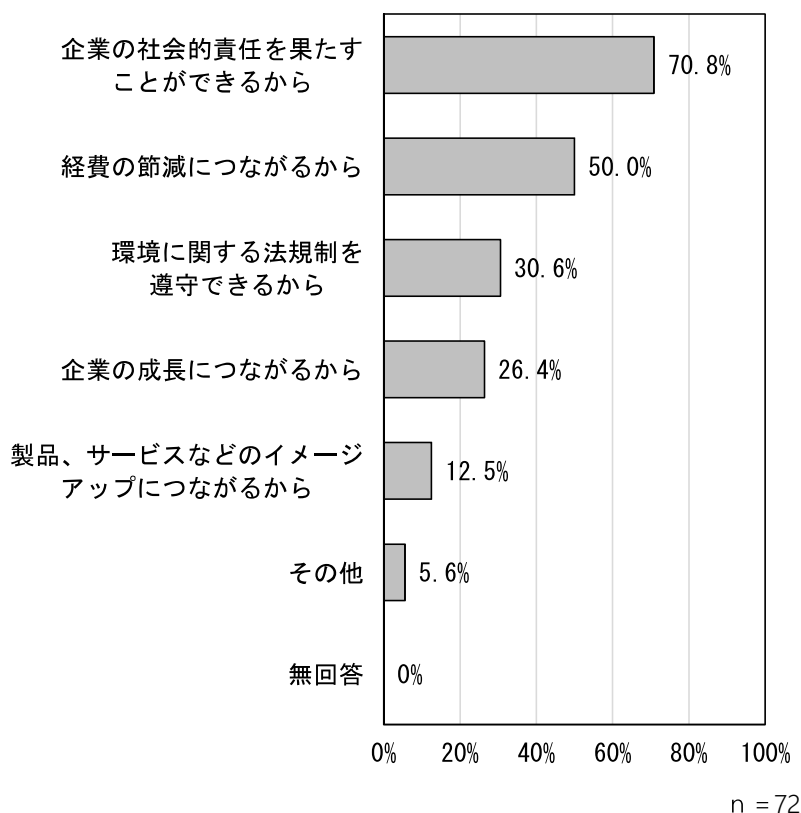
- ・地球温暖化対策に取り組むことが事業活動の一環として当たり前となるよう、普及啓発するとともに、対策に取り組むインセンティブをつくるなど取組を促進する仕組みを検討する必要があると考えられる。

<問3で、1と答えた方に伺います。>

貴事業所が地球温暖化対策に取り組む理由は何ですか。

(あてはまる番号3つまでに○)

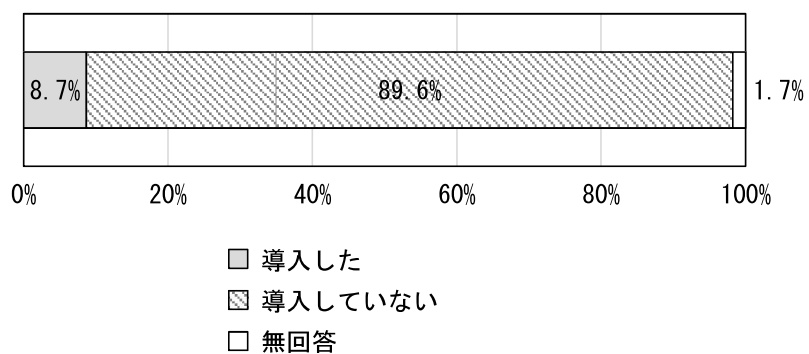
- ・「企業の社会的責任を果たすことができるから」と回答した事業所が70.8%で最も高く、次いで「経費の節減につながるから」が50.0%、「環境に関する法規制を遵守できるから」が30.6%、「企業の成長につながるから」が26.4%、「製品、サービスなどのイメージアップにつながるから」が12.5%であった。



- ・取り組む理由をメリットとして事業所に周知し、地球温暖化対策に取り組む事業所が増えるよう図る必要があると考えられる。

＜問４＞貴事業所では、再生可能エネルギー電力を導入しましたか。
(あてはまる番号１つに○)

- ・「導入していない」と回答した事業所は 89.6%と高かった。一方で、「導入した」と回答した事業所は 8.7%だった。



n = 115

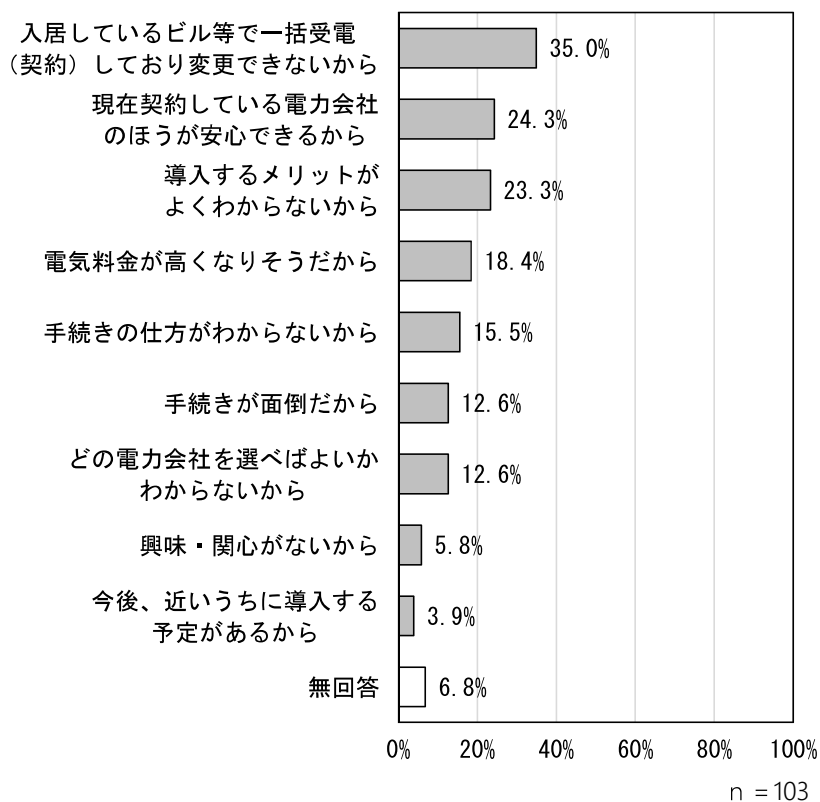
- ・事業所における再生可能エネルギーの導入は進んでおらず、導入における課題を抽出し、課題を解決する対策を講じることで導入が進むと考えられる。

<問4で、2と答えた方に伺います。>

再生可能エネルギー電力を導入していない理由は何ですか。

(あてはまる番号全てに○)

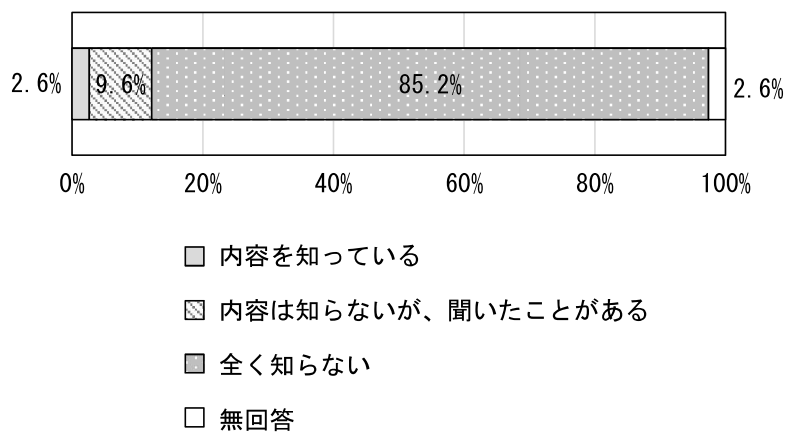
- ・「入居しているビル等で一括受電（契約）しており変更できないから」と回答した事業所が 35.0%で最も高く、次いで「現在契約している電力会社のほうが安心できるから」が 24.3%、「導入するメリットがよくわからないから」が 23.3%であった。また、回答者が少なかった項目として、「興味・関心がないから」が 5.8%、「今後、近いうちに導入する予定があるから」が 3.9%であった。



- ・入居ビルで一括受電しているため変更できない事業所が多いことから、ビルオーナー等に対し、再エネ電力の導入を推進する働きかけが必要であると考えられる。
- ・電力会社の選択、手続きの仕方、導入メリットに関する知識不足や電気料金が高くなりそうというイメージにより導入していない人が一定数いることから、それらの項目を含めた再生可能エネルギー電力に関する情報提供を強化する必要があると考えられる。

＜問5＞区が推進している「新宿再エネオークション」について、知っていますか。
(あてはまる番号1つに○)

- ・「全く知らない」と回答した事業所が85.2%で最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことがある」が9.6%、「内容を知っている」が2.6%であった。



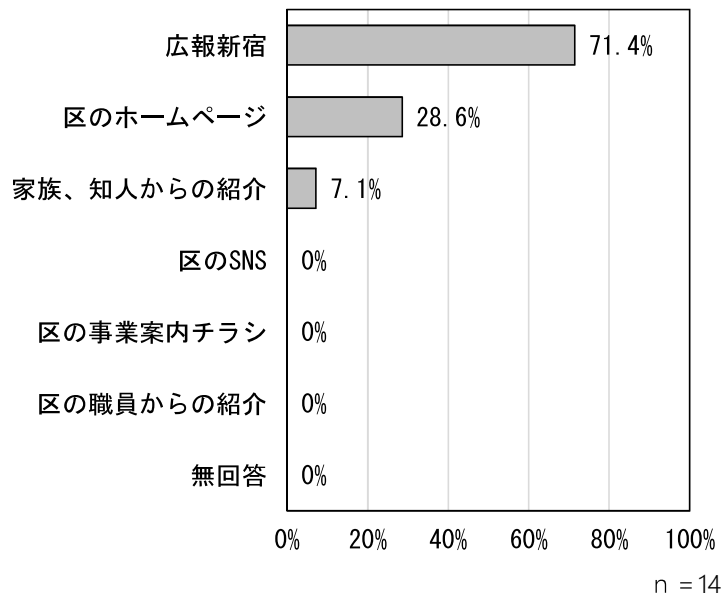
n = 115

- ・「新宿再エネオークション」の認知度は低く、再生可能エネルギー電力の導入を促進するために、「新宿再エネオークション」についての仕組みの紹介やメリット等の情報提供等を通じて、普及啓発を強化する必要があると考えられる。

<問5で、1または2と答えた方に伺います。>

「新宿再エネオークション」について、どのようにして知りましたか
(あてはまる番号全てに○)

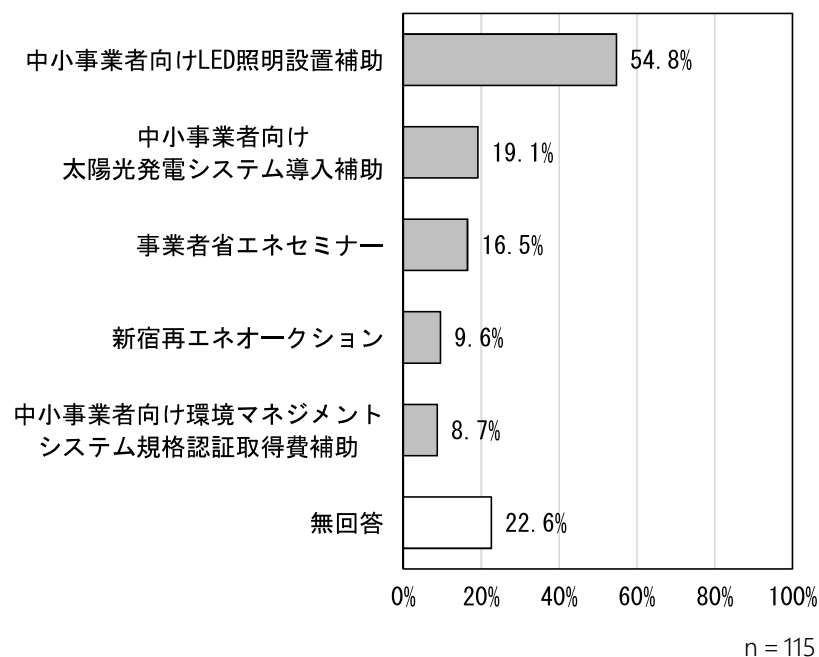
- ・「広報新宿」と回答した事業所が71.4%で最も高く、次いで「区のホームページ」が28.6%、「家族、知人からの紹介」が7.1%であった。一方で、「区のSNS」、「区の事業案内チラシ」及び「区の職員からの紹介」が0%であった。



- ・ 区の SNS、事業案内チラシ、職員からの紹介と回答した人はなく、効果的な情報発信の方法を検討する必要があると考えられる。
- ・ 広報新宿と回答した人は最も多く、情報発信の媒体として有効であると考えられることから、他の情報提供、普及啓発についても広報に力を入れて情報提供することが効果的であると考えられる。

＜問6＞区が行っている事業者省エネルギー行動等への支援事業のうち、貴事業所が今後新たに利用したいと思うものは何ですか。（あてはまる番号3つまでに○）

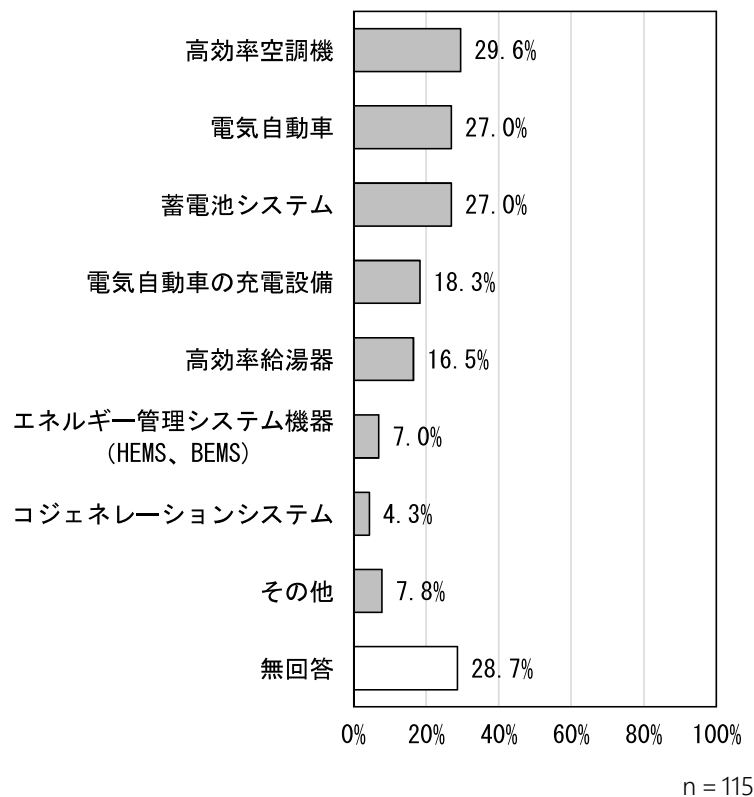
- ・「中小事業者向け LED 照明設置補助」と回答した事業所が 54.8%で最も高く、次いで「中小事業者向け太陽光発電システム導入補助」が 19.1%、「事業者省エネセミナー」が 16.5%、「新宿再エネオークション」が 9.6%、「中小事業者向け環境マネジメントシステム規格認証取得費補助」が 8.7%であった。



- ・支援事業のメリット等を合わせて情報提供し、事業の利用促進を図る必要があると考えられる。

＜問 7＞区が行っている事業者向け省エネルギー機器等設置補助（導入経費の一部に補助金を交付する事業）で扱っていない機器で、貴事業所が今後新たに利用したいと思うものは何ですか。（あてはまる番号全てに○）

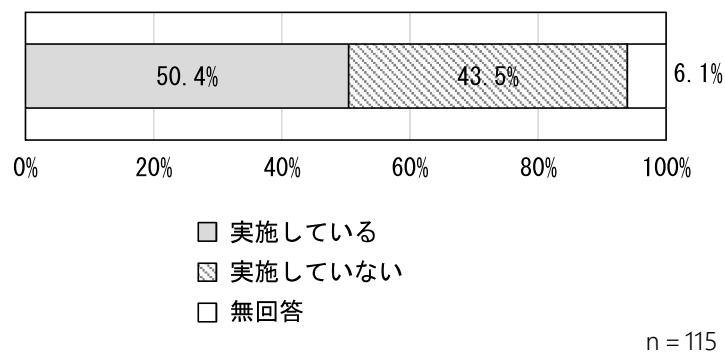
- ・「高効率空調機」と回答した事業所が 29.6%で最も高く、次いで「電気自動車」及び「蓄電池システム」が 27.0%であった。また、回答者が少なかった項目として、「エネルギー管理システム（HEMS、BEMS）」が 7.0%、「コジェネレーションシステム」が 4.3%であった。



- ・いずれの機器も利用を希望する事業所が一定数おり、補助対象への追加を検討する必要があると考えられる。

＜問 8＞貴事業所は、プラスチックの使用を抑制する、またはプラスチックごみを削減するための取組を実施していますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- ・「実施している」と回答した事業所は 50.4%、「実施していない」と回答した事業所は 43.5%だった。

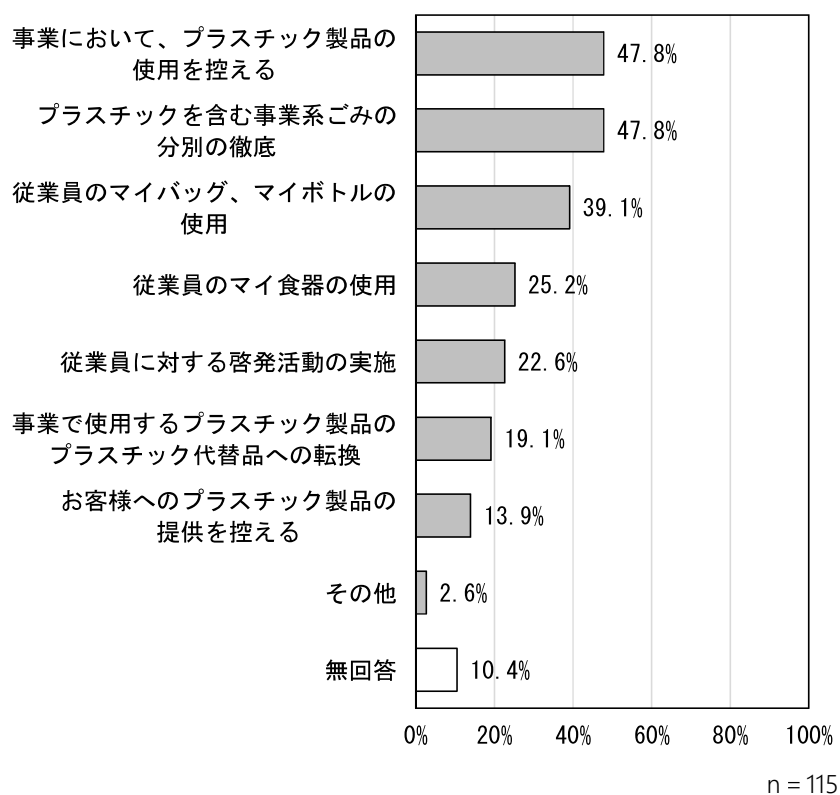


- ・プラスチックごみ削減に取り組むことが事業活動の一環として当たり前となるよう、普及啓発するとともに、対策に取り組むインセンティブをつくるなど取組を促進する仕組みを検討する必要があると考えられる。

<全ての方に伺います。>

プラスチックの使用を抑制する、またはプラスチックごみを削減するために、貴事業所が今後実施できること（1と答えた方は、すでに実施していることを含む）は何ですか。
（あてはまる番号全てに○）

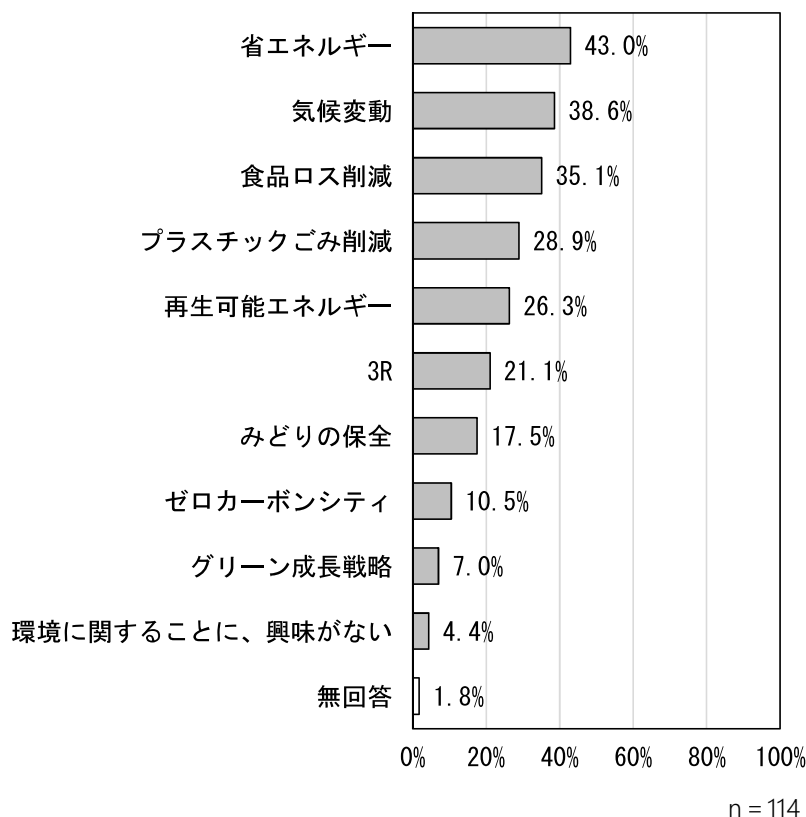
- ・「事業において、プラスチック製品の使用を控える」及び「プラスチックを含む事業系ごみの分別の徹底」と回答した事業所が47.8%で最も高く、次いで「従業員のマイバッグ、マイボトルの使用」が39.1%であった。また、回答者が少なかった項目として、「従業員に対する啓発活動の実施」が22.6%、「事業で使用するプラスチック製品のプラスチック代替品への転換」が19.1%、「お客様へのプラスチック製品の提供を控える」が13.9%であった。



- ・比較的回答者が少なかった項目について、取組が推進されるよう普及啓発を強化する必要があると考えられる。

＜問 9＞環境に関することで、貴事業所が関心のあるワードはありますか。
(あてはまる番号 3 つまでに○)

- ・「省エネルギー」と回答した事業所が 43.0%で最も高く、次いで「気候変動」が 38.6%、「食品ロス削減」が 35.1%であった。また、回答者が少なかった項目として、「ゼロカーボンシティ」が 10.5%、「グリーン成長戦略」が 7.0%、「環境に関することに、興味がない」が 4.4%であった。



- ・「環境に関することに、興味がない」と回答した事業所は少数であり、環境に関して興味をもつ事業所がほとんどであった。
- ・興味が低かった項目に関して事業所への情報提供の充実を図る必要があると考えられる。

<問 10>区的环境施策に対し、ご意見・ご要望があれば、ご自由にご記入ください。

No.	記述内容	業種	会社 従業員数
1	環境問題は一人ひとりが問題意識を持って取り組みを徹底しなければ前進しません。行政として様々な啓発をしていただきありがとうございます。これをきっかけに意識を高めていこうと思います。	教育・学習 支援	11～30 人
2	緑に溢れ優しい気持ちになる環境作りに励んでください。	小売	10 人以下
3	多種多様な人種が集まり、業種も多い区かと思いますが、少しでも環境への意識が向上し、きれいな街づくりを心掛ける区になれば良いかと思います。	製造	301 人以上
4	電力やプラスチックの使用について、企業はどうしても利益追求型になってしまい、社員個人の努力では限度がある。なので、使用するとお金がかかってしまう仕組み、抑制することが利益を生む仕組みを作ってほしい。	不動産	301 人以上
5	もっと積極的にやっていただきたい	情報通信	10 人以下
6	余りにも初歩的ですが、ゴミの“ポイ捨て禁止”を、もっと強力に効果的に進めて欲しい。(高額な罰金を科しても良いと思う)。	医療・福祉	10 人以下
7	ゴミの分別や再利用などもう少し進むといいと思います。	その他	10 人以下
8	環境に良い事がどのような事なのか何となくしか分かってないまま日常を過ごしています。どんな工夫ができるかなと情報をいただくと助かります。	建設	10 人以下
9	現在コロナ禍もあり、会社として余裕がない余裕がある時は検討可能かもしれない	建設	10 人以下
10	太陽光発電を推奨したその先の 10 年後、20 年後、50 年後の太陽光パネルの廃棄処理の地球環境に対する安全性などは考えているのでしょうか？100 年後の未来の子供たちに残せる地球環境を前提に責任をもって、大人たちは慎重に審議をすすめていただきたいものです。	建設	10 人以下
11	ビニル袋を有料にしてから、無料時より多く使用されている感じがします。	小売	10 人以下
12	(一般論として) 太陽光発電・風力発電等、自然に対して問題が起きないかと気になって居ります。 例えば、反射や、空気の流れが変わるか、等です。	医療・福祉	10 人以下
13	落ち葉を燃えるゴミで出しているが、燃さず土に戻す活動をして欲しい。	製造	31～50 人

(抜粋)